

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320229	X-21-B-1-320229			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × ×	1年 1年 1年 × × ×
授業科目	担当教員	1	前期				
中国語 1cA	姜 杰裕						

#### 授業目的

発音と声調が中国語習得の難関だと言われている。それを克服するために前期は発音、声調、ピンインを重点において、繰り返し練習を重ね、ピンインと声調が正しく聞き取れ、書ける。その上に正しく発音できるようにする。また中国語の基本的な文の構造を理解し、簡単な挨拶、会話と簡単な自己紹介が出来るようになり、以後の更なる中国語学習に基礎を築く。

#### 各回の授業内容

第1回	【授】 中国語について簡単紹介 単母音。 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	第9回	【授】 「買い物」 数量詞① 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習と書き取りを行う。1~100までの数字を流暢に言えるように繰り返し練習する。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第2回	【授】 複母音・声調記号のつけ方 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	第10回	【授】 「家族」 数量詞② 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。数量詞を中心に聞き取りと言葉練習を繰り返す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第3回	【授】 子音① 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	第11回	【授】 復習・確認テスト 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの中の内容をまとめ総復習を行う。予習復習に4時間。
第4回	【授】 子音②・声調の変化・軽声・ル音化 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	第12回	【授】 形容詞の使い方・所有と存在の文法 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第5回	【授】 発音の総復習・確認テスト 【前・後】付属のCDを利用して発音練習と書き取りを行う。ここまでの中のピンインと声調の総復習を行う。予習復習に4時間。	第13回	【授】 時間① 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第6回	【授】 「初対面 1」 【前・後】付属のCDを利用して本文が暗記できるほど音読する。単語の書き取りを行う。テストで指摘されたところを重点に復習。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。	第14回	【授】 時間② 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの中の総復習を行う。予習復習に4時間。
第7回	【授】 「初対面 2」 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の音読練習、書き取りを行う。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。	第15回	【授】 期末試験 【前・後】ここまでの中の総復習をする。予習復習に4時間。
第8回	【授】 指示代名詞の使い方・疑問文 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。	第16回	【授】 作文（事前にテーマをお知らせする） 【前・後】これまで習った文法、単語をや活用して簡単な作文を書く。

#### 成績評価方法

発音、四声の正しさ、ピンインの読み書き能力を重視する。授業時間に有効利用して、正しい発音を身につけるために、積極的に授業に参加することを求める。成績は期末試験(40%)、小テスト(15%)、授業態度・授業参加(15%)、宿題(15%)を合わせて総合的に評価する。テストは採点して返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。

#### 教科書・参考書

『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格への道のり』著者 周一川・郭海燕・賈曦 (同学社)

#### 受講に当たっての留意事項

中日辞典(紙媒体ないし電子辞書)を必ず持参すること。

授業状況により予定を変更することがある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○
学習到達目標		
発音と四声の徹底した練習を通して、ピンイン符号の読み書きが正確にできるようにする。簡単な自己紹介が流暢に話せ、漢詩一首暗誦、簡単な挨拶ができるように、中国語を話す、聞く、読む、書くための基礎能力を身につける。		
JABEE		

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320229	X-21-B-1-320229			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門 専門 専門 × × ×	選択必修 選択必修 選択 × × ×	1年 1年 1年 × × ×
授業科目	担当教員	1	前期				
中国語 1cB	姜 杰裕						

#### 授業目的

発音と声調が中国語習得の難関だと言われている。それを克服するために前期は発音、声調、ピンインを重点において、繰り返し練習を重ね、ピンインと声調が正しく聞き取れ、書ける。その上に正しく発音できるようにする。また中国語の基本的な文の構造を理解し、簡単な挨拶、会話と簡単な自己紹介が出来るようになり、以後の更なる中国語学習に基礎を築く。

#### 各回の授業内容

第1回	第9回
【授】 中国語について簡単紹介 単母音。 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	【授】 「買い物」 数量詞① 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習と書き取りを行う。1~100までの数字を流暢に言えるように繰り返し練習する。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第2回	第10回
【授】 複母音・声調記号のつけ方 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	【授】 「家族」 数量詞② 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。数量詞を中心に聞き取りと言葉練習を繰り返す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第3回	第11回
【授】 子音① 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	【授】 復習・確認テスト 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの中の内容をまとめ総復習を行う。予習復習に4時間。
第4回	第12回
【授】 子音②・声調の変化・軽声・ル音化 【前・後】付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。予習復習に4時間。	【授】 形容詞の使い方・所有と存在の文法 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第5回	第13回
【授】 発音の総復習・確認テスト 【前・後】付属のCDを利用して発音練習と書き取りを行う。ここまでの中のピンインと声調の総復習を行う。予習復習に4時間。	【授】 時間① 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。
第6回	第14回
【授】 「初対面 1」 【前・後】付属のCDを利用して本文が暗記できるほど音読する。単語の書き取りを行う。テストで指摘されたところを重点に復習。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。	【授】 時間② 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。ここまでの中の総復習を行う。予習復習に4時間。
第7回	第15回
【授】 「初対面 2」 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の音読練習、書き取りを行う。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。	【授】 期末試験 【前・後】これまで習った内容を復習する。予習復習に4時間。
第8回	第16回
【授】 指示代名詞の使い方・疑問文 【前・後】付属のCDを利用して単語と本文の発音練習、書き取りを行う。教科書の中国語を日本語に訳す。練習問題を解く。授業の内容を復習する。予習復習に4時間。	【授】 作文(期末試験前にテーマをお知らせする) 【前・後】習った文法を活用、簡単な作文を書く。

#### 成績評価方法

発音、四声の正しさ、ピンインの読み書き能力を重視する。授業時間に有効利用して、正しい発音を身につけるために、積極的に授業に参加することを求める。成績は期末試験(40%)、小テスト(15%)、授業態度・授業参加(15%)、宿題(15%)を合わせて総合的に評価する。テストは採点して返却し、解説を行う。また、口頭発表を採点して、改善点を指導する。

#### 教科書・参考書

『新・ゼロから学ぶ中国語一検定試験合格への道のり』著者 周一川・郭海燕・賈曦(同学社)

#### 受講に当たっての留意事項

中日辞典(紙媒体ないし電子辞書)を必ず持参すること。

授業状況により予定を変更することがある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング(ディスカッション、グループワーク、発表等)の実施
×		○
学習到達目標		
発音と四声の徹底した練習を通して、ピンイン符号の読み書きが正確にできるようにする。簡単な自己紹介が流暢に話せ、漢詩一首暗誦、簡単な挨拶ができるように、中国語を話す、聞く、読む、書くための基礎能力を身につける。		
JABEE		

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習